

自動運転バス 2期社会実証の実施について

■バス専用通行帯の自動運転走行距離を修正

- ・2期社会実証走行ルート図のバス専用通行帯の自動運転走行距離(約500m)を(約600m)に修正

■自動運転で走行する距離の詳細等についての補足

- ・今回の実証走行は、路線バスのSGリアルティ線の走行ルート約4.7kmの内、バス専用車線約1.6km、一般車と混在する一般車線約1.3km、計2.9kmの区間をレベル2による自動運転走行を行うとともに、途中にバス停を6箇所設置し、乗降できるかたちをとる。

■2期社会実証実施までの経緯・経過の補足

- ・令和2年度から和光版Maas構想の一つとして、自動運転サービス導入事業を進めており、令和4年度から外環側道の外回り及び内回りにバス専用車線約1.6kmを整備した。

令和5年度には、1期区間で整備した約800mの区間をレベル2による自動運転走行する1期社会実証を実施した。

今回の2期社会実証では、自動運転走行区間を1期区間に加え、整備が完了した2期区間にも拡大するとともに、一般車線の一部区間においても自動運転走行を行い、通年走行を見据えた実証を実施する。